

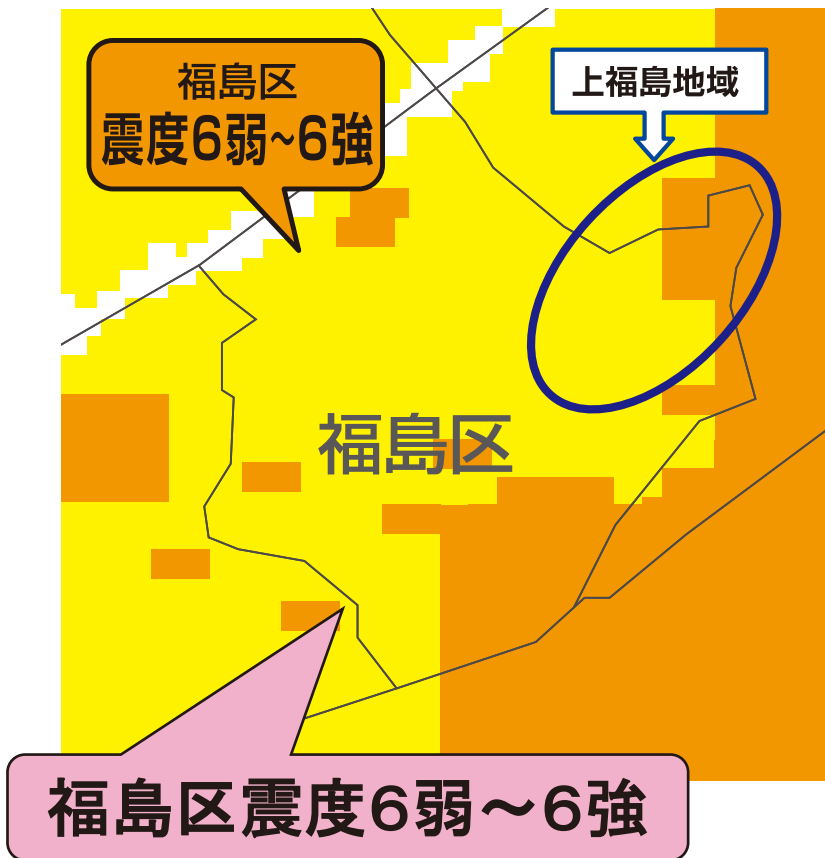
(3)海溝型地震(南海トラフ巨大地震)



震度階級

- 計測震度6.5~(震度 7)
- 計測震度6.0~6.5(震度 6強)
- 計測震度5.5~6.0(震度 6弱)
- 計測震度5.0~5.5(震度 5強)
- 計測震度4.5~5.0(震度 5弱)
- 計測震度~4.5(震度4以下)

(4)直下型地震(上町断層での地震)



計測震度

- 震度 7
- 震度 6強
- 震度 6弱
- 震度 5強
- 震度 5弱
- 震度 4以下

震度6弱、6強、7とは

電気・ガス・水道などのライフラインはストップすることも予想されます。

震度 6弱

- 立っていることが困難になる
- 未固定の重い家具の多くが移動、転倒する
- かなりの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損

震度 6強

- はわないと動くことができない
- 未固定の家具のほとんどが移動し、転倒する
- 壁のタイルや窓ガラスが破損

震度 7

- 揺れに翻弄され、飛ばされることもある
- 未固定の家具は飛ぶこともある
- 補強済みのブロック塀も破損するものがある

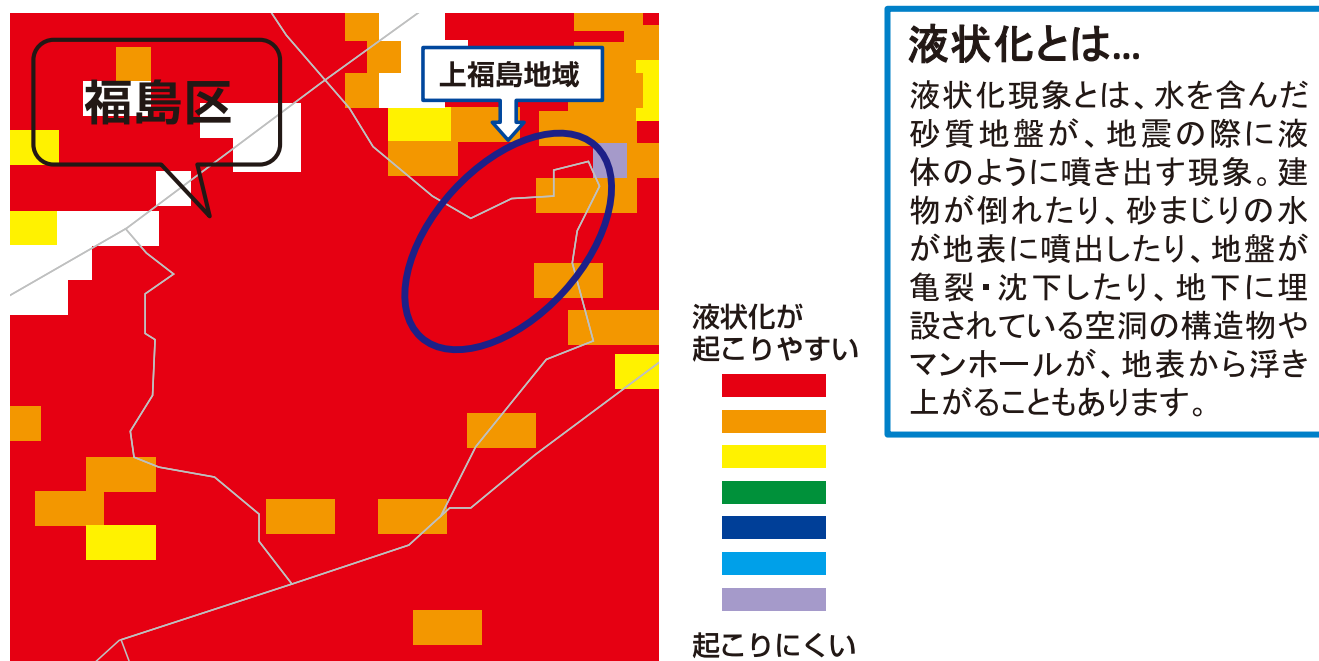


海溝型地震の被害状況
大きく長い揺れで津波がくる可能性がある。



直下型地震の被害状況
揺れている時間は短いですが、強く激しく揺れて高い建物でも大きく破壊するものがある。

(5) 液状化可能性想定図



福島区では、全体的に液状化が起こりやすい地域となっています。液状化の被害が出ると亀裂や泥などで容易に通行ができず、避難路であっても機能しにくくなります。

(6) 津波被害・河川氾濫・内水氾濫での被害



□南海トラフ巨大地震による津波被害…… 約2.5m(最大) 青色ライン

[マグニチュード9.1程度の地震が発生し、最大クラスの津波による浸水が起きた場合(防潮堤の沈下や防潮施設の開閉状況を考慮)(満潮時を想定)]

□淀川が氾濫した場合の被害…… 約5.5m(最大) 赤色ライン

[総雨量500mmの降雨(昭和28年9月洪水(台風13号)の2倍の降雨(東海豪雨級の降雨))を想定]

□豪雨などによる内水氾濫の被害…… 約0.5m(最大) 黄色ライン

[総雨量567mm、時間最大雨量93mmの降雨(東海豪雨級の降雨)を想定]

(7)福島区の被害想定

区 分	上 町	南海トラフ	生 駒
全壊棟数	木造 2, 295棟 非 201棟	木造 589棟 非 40棟	木造 410棟 非 22棟
半壊棟数	木造 2, 190棟 非 532棟	木造 1, 015棟 非 148棟	木造 712棟 非 113棟
死者数 (早朝)	46名	6名	3名
死者数 (昼夕)	47~49名	6名	4名
負傷者数	1, 292~ 1, 464名	634~685名	434~510名
避難者数	5, 180名	1, 636名	1, 134名

(8)上福島地域の被害想定

区 分	上 町	南海トラフ
全壊棟数	木造 143棟 非 25棟	木造 27棟 非 3棟
半壊棟数	木造 138棟 非 60棟	木造 48棟 非 12棟
死者数 (早朝)	3名	0名
死者数 (昼夕)	5名	0名
負傷者数	98~208名	30~66名
避難者数	389名	81名